

グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文国際教育研究拠点」

「ヨーロッパ／非ヨーロッパ—東欧の現代文学」

第二回研究会（公開ワークショップ）

<報告 1>

ダニロ・キシュー 作品と生涯

奥彩子

大阪大学大学院人間科学研究科
GCOE 特任研究員

<報告 2>

パヴェウ・ヒュレとポーランド西部
国境地帯の文学

井上暁子

日本学術振興会特別研究員
(東京大学大学院総合文化研究科
地域文化研究専攻)

1999-2000 年、ベオグラード大学留学（ユーゴスラヴィア政府給費生）。2002 年、京都大学大学院文学研究科スラブ語学スラブ文学専攻修士課程修了。2008 年、東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程修了、学術博士。専門は旧ユーゴスラヴィア文学。訳書に、ダニロ・キシュー著『砂時計』（松籟社、2007）。主要論文は「ダニロ・キシューと中央ヨーロッパ」（『スラヴ研究』第 55 号、2008）、「ユーゴスラヴィアにおける 1970 年代の文学論争」（『東欧史研究』第 30 号、2008）など。

2000-2002 年、ワルシャワ大学留学（ポーランド政府給費生）。2003 年、北海道大学文学部文学研究科（ドイツ文学専攻）修士課程修了。2003 年 4 月、東京大学総合文化研究科博士課程入学。2004 - 2006 年、フンボルト大学留学（DAAD 奨学生）。2006 - 2007 年、東京大学とワルシャワ大学交換留学生としてワルシャワ大学留学。2008 年現在、東京大学総合文化研究科博士課程 3 年在籍中。訳書に、スタニスワフ・レム著「ドストエフスキーについて遠慮なく」、「H.G.ウエルズ『宇宙戦争』論」（『高い城・文学エッセイ』、国書刊行会、2004）、クシシュトフ・ニエヴジェンダ著「数える」（『ポケットの中の東欧文学』、成文社、2006）。主要論文は、「移民文学におけるリズム性—クシシュトフ・ニエヴジェンダの短編集『全体の探究"poszukiwanie całości"』を例に」（『西スラヴ学論集』第 10 号、2007）、「集団の記憶と想起の過程—ドイツ在住ポーランド人作家ルドニツキの文学を通して」（『西スラヴ学論集』第 11 号、2008）ほか。

日時：2008 年 10 月 4 日(土)10:30-12:30

会場：大阪大学待兼山会館 1F 特別室
(豊中キャンパス)

地図：<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/annai/about/map/toyonaka.html>